

### 1 自己評価及び外部評価結果

#### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4073400295		
法人名	有限会社 笑苑		
事業所名	ブルーホーム 笑苑 (別館)		
所在地	〒818-0122 福岡県太宰府市高雄一丁目3664番地258 TEL 092-918-0808		
自己評価作成日	令和04年09月03日	評価結果確定日	令和04年10月25日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/40/index.php">https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/40/index.php</a>
----------	---

#### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 北九州シーダブル協会		
所在地	福岡県北九州市小倉北区真鶴2丁目5番27号 TEL 093-582-0294		
訪問調査日	令和04年10月11日		

#### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

笑苑理念・笑苑が目指すものに基づいて、日々の生活の中で希望に合わせた壁面飾りの共同制作や、花植え、水やり、機能訓練を踏まえたレクリエーションなど、個々の身体状況や生活歴に合わせてそれぞれ活動的に、かつ穏やかな日常生活が送れるよう、スタッフ一丸となって努力しております。

#### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

### V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~57で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
58	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:25,26,27)	65	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,21)
59	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:20,40)	66	グループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,22)
60	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:40)	67	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
61	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:38,39)	68	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)
62	利用者は、日常的に戸外へ出かけている (参考項目:51)	69	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
63	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:32,33)	70	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
64	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:30)		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	朝礼時に”理念”と”笑苑が目指すもの”を唱和し、管理者と職員が一丸となって利用者様に満足していただけるような実践に繋げている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の清掃活動や安全パトロールへの参加もしている。コロナ禍により地域の夏祭りなど中止の為参加できていないが、資源ごみの回収や提供等もしている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	人材育成の貢献として、実習生を積極的に受け入れている。又、会合や研修会等へリモートにて参加しながら認知症ケアの啓発に努めている。声かけ模擬訓練で認知症当事者や介護者の現状を発信している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナ禍により、運営推進介護の開催が出来ない時は、運営推進会議録を作成し、実践報告書を提出している。事業所の現状を明らかにすることで、メンバーからの意見をもらい次のステップに活かせるようにしている。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	リモートでの会議等にも参加し、事業所の実情やケアサービスの取り組みを伝えている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介護指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関も施錠することなく、日頃から利用者様が外に出たいとの要望を察知し、ストップをかけることなく傾聴や行動を共にしている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待関連の記事やニュース等を議題にし、カンファレンスにて職員間で自分達の実践を振り返り、虐待防止に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8	6	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者やケアマネージャーを中心に、話し合いを持ち、制度の概要を理解できるように努めている。又、相談等があれば、支援できるような体制を整えている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、契約書及び重要事項の説明を十分におこない、家族の不安、要望、疑問点等に対しても納得の行く説明をしている。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用報告書や、広報誌を通して暮らしの様子をご家族様に報告し、面会時には意見の交換や情報の共有に努めている。		
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	カンファレンス会議には、代表や管理者も参加して、職員の意見や提案を聞く機会も持っている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は、職員一人ひとりの勤務状況や勤務態度を把握し、労働時間や給与査定等の条件を明確にししながら職員が働きやすい環境づくりに努めている。		
13	9	○人権尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	職員の募集や採用にあたっては特に制限を設けなく、性別や年齢に関係なく、その生き生きと勤務し、社会参加できるような受け入れをしている。		
14	10	○人権教育・啓発活動 法人代表及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	カンファレンスや日々の申し送り等で利用者個々の性格や生活習慣を尊重し、敬いの気持ちを忘れずに取り組めるような啓発活動をおこなっている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
15		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	実践現場において互いに意見を述べ、アドバイスを受けられる環境づくりに努めている。また、外部研修を受ける機会が持てるよう案内もしているが、コロナ禍により中止が多い。		
16		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	現在は、リモート会議の参加を通して同業者との交流を図っている。各々の事業所の実態を語り合うことで自事業所の現状を再確認し、改善に努めている。		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
17		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者様、ご家族の要望や不安を傾聴し、寄り添うケアを提供しつつ自分らしく暮らせる移住空間の取り組みを行っている。希望があれば、体験入居も取り入れている。		
18		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用者様やご家族へのニーズアセスメントと行う際は、本音で話しやすよう環境設定などにも配慮を行うよう努めている。		
19		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	日頃より他のサービス機関や医療機関との連携を図っており、複数の選択肢から選べるような提案に努めている。		
20		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者様自身が穏やかに過ごせる空間づくりや個々の希望にあった生活環境づくりに努めている。		
21		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族と共に利用者様を支える事ができるよう、日頃からご家族との交流を怠らず、又関係を大切に考えている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ禍で中止もあるが、以前、居住していた地域の敬老会や町内会かあの連絡など受け入れる環境づくりに努めている。		
23		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	互いに助け合いのできる環境や話かけやすい環境をつくり、個々が周りに目を向ける輪が出来つつある。		
24		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了しても必要に応じて連絡をとり、その後の経過や状況把握に努めている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
25	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者様同士の会話や職員に投げかける言葉の中に希望や思いがあるのではないかと、ご家族の協力も得ながら職員ができる事を検討し実現できるように努めている。		
26		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの生活環境、習慣等を利用者様本人・ご家族との会話の中から見出し、自分らしい暮らしをしていただけるように努めている。		
27		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常生活の中で、職員同士で情報交換しながら現状把握に努めている。		
28	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画の検討・見直しが必要になった場合は、ご家族・主治医と相談しながら検討し、現状に即した介護計画になるように努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	職員間で情報を共有しやすいような記録の仕方を実践し、日々見直ししながら介護計画に活かしている。		
30		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者様とご家族から出てくるニーズに対応できるように努めている。		
31		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の行事やボランティアとの交流を通して安全、かつ豊かな暮らしができるように支援している。		
32	14	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者様、ご家族の意見を尊重し、往診にするか受診にするかを選択した上で、主治医とご家族に健康状態、精神状態など報告し、共有しながら適切な医療を受けられるように支援している。		
33		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職員は、小さな気づきも看護師と常に情報共有し、必要な医療的ケアについて、主治医と連携しながら健康維持に努めている。		
34		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院医療機関との情報交換を行いながら、退院後の生活がスムーズに再開できるよう医療機関内の連携室と情報交換も行っている。		
35	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時にも看取りケアについて事業所の方針を説明しているが、重度化したときは終末期を迎える段階になったときも、ご家族の意向を聞きながら、終末期ケアについて十分な説明をしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
36		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時には、主治医の指示によって対応できるシステムがあり、職員もマニュアルに沿って臨機応変に対応できるように、カンファレンス会議において定期的に訓練している。		
37	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の避難訓練を通して、火災・水害・地震の際の対応について学んでいる。 地域との連携がコロナ禍で不安定である。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
38	17	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様の生活歴や家族からの聞き取りなどを把握し、人格の尊重に役立っている。		
39		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日頃の会話等からご本人の希望や願いを察し、出来る限りご本人の意向に沿った働きかけができるように努めている。		
40		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	「自分らしく心豊かに」の理念に沿った実践に努めている。利用者様の自己決定を尊重しつつ、時には提案などもさせていただくことで、より豊かな暮らしになるように努めている。		
41		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人の生活歴から、訪問美容の利用、化粧などその人らしい身だしなみを尊重し自己決定して頂いている。		
42	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	テーブル準備や食器拭き、後片づけなど、出来る範囲で一緒に手伝って頂いている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者様全員の水分補給を記録し、食事に関しては、その時の体調などを把握し、適量な摂取ができるように支援している		
44		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	歯科医師及び歯科衛生士の助言を受けながら、一人ひとりに声かけをし、又は介助しながらご本人に応じた口腔ケアを行っている。		
45	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄に関しては、プライバシーを尊重しながら、排泄パターンを把握し、ご本人の負担にならないように声かけや介助に努めている。		
46		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分や運動で少しでも便秘の解消なる事を利用者様にも日々声かけし、体操等も取り入れている。慢性的な便秘に関しては、主治医の指導を受け、薬の調整をしている。		
47	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	週2～3回の入浴を行い、それぞれのタイミングで可能な限り対応している。		
48		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご本人の生活習慣から安心して休んでいただけるようにタイミングを見ながら声かけをしたり、ベッド回りの環境にも気を配っている。		
49		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員は、薬の文献を参考に、作用・副作用を確認し、かつ、不明な点は、主治医・薬剤師に助言をもらいながら確実な服薬管理ができるように努めている。		



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日常生活の中で、家事など役割り分担することで、ご本人が皆の役に立っているのだという意識が持てるように支援している。 花壇に花植えたり、水やりをしながら花の成長過程を楽しんで頂いている。		
51	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	花の水やりや散歩と、日常的に戸外げ出かけられるように支援している。家族から外食の要望がある時は、利用者様と家族と一緒に出かけられるように支援している。		
52		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理は、ご本人の希望があれば、家族の同意を得ながら金額の確認し、極力希望に沿えるように支援している。		
53		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人の要望があれば家族に電話をしたり、不安な状態の時などは、家族に電話や手紙を書くなどして安心されることもある。		
54	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間は勿論、環境づくりにも配慮し、廊下の壁面には季節感を取り入れた創作物など掲示して、居心地良く過ごして頂けるように工夫している。		
55		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングで、食事や体操、ゲームなどをして過ごすときは、気の合う利用者様同士で過ごせるような工夫をしている。また、お一人になりたい時は、居室に戻られ自由に過ごして頂いている。		
56	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人の状態に合わせた居室内の環境づくりをしている。また、ご本人やご家族、職員が作成したものを掲示したり、写真などが増えてご本人も大変喜んでおられる。		
57		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりの設置や動線の確保など、自分で出来る事を環境面でもサポートしている。		